



# のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成 22 年 2 月 1 日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



## 12月議会の内容

- 一般質問 P 2 - 5
- 決算認定 P 6
- 議案質疑 P 7
- 委員会報告 P 8

平成 21 年第 4 回能登町議会定例会は、12 月 7 日から 15 日までの 9 日間の日程で開催されました。7 日には議案 13 件、請願 1 件、陳情 1 件が上程され、議案質疑が行われました。議案は各常任委員会に付託されました。10 日に町政一般質問、15 日に採決が行われ、継続審査となっていた平成 20 年度決算を認定、議案 13 件は原案のとおり可決、請願 1 件は採択、陳情 1 件は継続審査となりました。追加議案で上程された発議 1 件は原案のとおり可決されました。

第 8 回石川ふるさと CM 大賞で 2 位受賞となった  
タイトル「人の力になりたい！！」  
でクロマルハナバチを演じた上町保育所のみなさん

# 第19号

# いっぱん質問



酒元法子 議員

**問** 地デジ対策は

小中学校における地デジ対策の進捗状況は。

**答** 整備推進を図る

**町長** 6月補正におい

て、電子黒板11台、地デジ対応テレビ77台を国の「学校ICT環境整備事業」で予算計上していたが、国の第一次予算見直しによりストップしていた。しかし、執行可能となったので、来年1月には物品の入札を行い、整備をすすめていきたい。

**問** 事業仕分けによる当町への影響は

事業仕分けで、シルバー人材センターの予算がカットされたとのことだが、問題となったのは

天下りに対するもので、公益法人が国民のためにやる事業をカットし、甘い汁はそのままなのか。また、子供手当でのかわりに扶養控除をなくすとの発表だが、所得税が上がり、保育料のアップとなるのでは。

町の活性化を願う事業も費用対効果の判断のみで、ことごとくカットならば田舎殺しと叫ばれているのが正しいのか。

**答** 政府の予算編成を見極め効率的に

**ふるさと振興課長** シルバー人材センターは町と同額を国の補助で賄っており、このような団体に対する補助をどうこうというのは個人の思いとしては、ありえないものと考えている。

**企画財政課長** 財源の自身が決まっておらず、予算の上げようがないので、見極めながら予算編成を進めたい。



大谷内義一 議員

**問** 副町長の職責をどう認識しているか

副町長の職責をどのように認識し、仕事をしているか。貴方は職員の経験もあるので、職員の能力を最大限に引き出すための職場環境をどのようにすべきと考えているか。

また、400人の職員が目標を持って仕事をすることが、より必要かと思うが。

**答** 架け橋的な役割を果たしたい

**副町長** 地方自治法に町長を補佐し、町長の命を受けて政策及び企画を司り、職員を監督し町長の職務を代理するところ。町民や議員各位と町長の架け橋的な役割を果たすべきと考えている。

また、職員の県への出向や短期研修でチャンスを与えながら人材作りに励んでいきたい。

持木町政の掲げる目標達成に最大限努力するということが私の目標であり、職員にとっては研修、人格形成、仕事の進め方などそれぞれ目標を持ち進めていくことが大切であると再認識している。

**問** 能登町の教育の方向として特色ある学校づくり

日本の教育は教育基本法によって平均化された教育をしている。そのような中で能登町の学校に特色を持たせるにはどうするか。

また、4月に開校した能登高校への地元中学生の入学希望が少ない要因は。能登高校をなくしてはならない。

**答** 特色ある町や学校づくりはまず学力の向上

**教育長** 特色ある学校を作るには、まず自分の町を認識することが必要であり、町の冊子を作った教材にしている。特色のある子供たちにするには、まず学力の向上であり、教師の指導力が最大の要因であるため指導力向上の研修をしていきたい。

能登高校に関しては、新設高校であり、情報発信の遅れもあり、既存の高校に進路を選んだと考えられる。思いは町立高校に匹敵するものだ。

**問** 町長の感想は

副町長、教育長と議論を交わしてきたが、町長の感想は。

**答** スクラムを組んで町の発展に努める

**町長** 2人は行政・人生経験も豊富で信頼している。

また、能登高校を応援する会を支援し、入学者の確保にも努めたい。



山本一朗 議員

**問** 「ふるさとCM大賞」2位受賞の事業の今後は

ふるさとCM大賞コンテストで、当町の作品が2位受賞に輝いたが、受賞の要因となったのは町が事業化しようと努力しているクロマルハナバチを主役にしたことと、現時点は予測どおりきているのか。

**答** 品質の良さをアピールする

**町長** 2位受賞のお蔭で年間150回位の放送がされるので町の宣伝、事業の宣伝にもなり期待している。

クロマルハナバチの今後は、将来、セイヨウオオマルハナバチの輸入、使用が禁止となる見込みから、クロマルハナバチ飼育事業を開始したので商品化率を高めながら、セイヨウオオマルハナバチの市場に食い込んでいく戦略を立て、全国の農家へアピールしていく。

**問** 事業仕分けにより町の受けるダメージは

11月11日から9日間の日程で始まった行政刷新会議による事業仕分けは国民の72%以上が良いと答えているが、私には官僚に対する公開処刑のように映り、古代ローマ時

代の罪人に対する公開処刑で市民が熱狂的に拍手を送った姿と日本国民の姿がダブってしまった。

無駄とでたらめを改めるのは賛成だが、費用対効果の定義をもつてのゴリ押し廃止は地方を殺しかねないと思うが当町のダメージはどうなのか。

**答** 約93億8600万円のダメージ

**企画財政課長** 能登町関係の事業仕分け対象事業は、21事業あり、金額にすると93億8600万円余りが該当している。これは、廃止・削減・地方移管・見直しを含めたものである。



鶴野幸一郎 議員

**問** 今後の縄文真脇温泉とポーレポーレの経営は

縄文真脇温泉の3施設は本年、指定管理者を全国的に公募したところ、公社以外には応募する業者がいなかったということだが、今後どのように管理運営を考えているか。

また、植物公園のレストラン部門の経営に関して2000万円の委託料が支払われているのはなぜか。黒川のセミナーハウスやまびこには委託料の支払いはないが、その差異の根拠は何か。植物公園の管理料は3900万円、レストラン部門の管理料は2000万円と異なっており、一体的ではなく区別して払っている。



植物公園お祭り広場



縄文真脇遺跡公園

今後の町の事業に関しても、病院などの公営企業に準じた経営的縛りが必要なのではないか。

**答** 縄文3施設は特色ある施設であり公社で経営する

**町長** 全国規模で公募したところ、公社以外に応募者がいなかったのが実情であるが、特色のある3施設なので、存続を前提に再度、公社に委託した。

また、植物公園もレストランも一体的経営で成果を上げており、来年1年の経過を見て、その後決定したい。

町の各施設の存廃基準というものも特に設けていないし、資金不足比率に関しても、例えば宇出津病院がそれを超えたからといって、すぐに閉鎖することは出来ないし、単純に数字だけで判断出来ないと考えている。



石岡安雄 議員

**問** 要望・陳情・請願への対応は

住民からの要望にどのように対応し取り組んでいるのか。計画・予定などを住民の方々に説明し、理解していただいているのか。

委員会や審議し、採択された陳情や請願に関しても、住民に執行出来るか否かを通知することが行政サービスでは。事業化出来ない理由に利用頻度や費用対効果の面から難しい。あるいは生活路線として緊急の整備は要しないなど、それなりの理由があるなら、陳情された地区住民の代表者に説明すべきだ。

また、議会で採択された陳情・請願の取り組みや結果について報告がされていない。

**答** 予算措置に努力している

**町長** 要望に関しては、内容を聴取して現地調査を行い、町で対応するものなのか、あるいは地域で対応するものなのかを公平な立場で判断し、その結果を要望者に伝えるよう努めている。

また、議会が採択した陳情や請願については、議会の意見を最大限に尊重し、事業計画に載せながら順次、予算措置に努力している。

**問** サルビアロードの維持管理に花のオーナー制度は

5月から10月にわたってサルビアが咲き誇る、珠洲道路の桜峠から中斉地区の約2・3キロの、通称「サルビアロード」の維持・管理・運営について。

いくつかの区画ごとに花のオーナー制度を創設したり、協力の募金を行えば、通行人の関心を増やし、ごみのポイ捨てや苗を抜いていくなどの安易な気持ちも減ると考えられるし、今後の維持管理もしやすくなるのではないかと。

**答** オーナー制度という方法もひとつの方策かと思う

**町長** 能登町の玄関口として好印象を与え、多くの観光客から高い評価を受けている場所だと思っている。

いたずら防止という観点からもオーナー制度という方法もひとつの方策かと思う。

**問** 来年度以降の全国学力テストへの参加は

今年度の学力テストの結果はどうだったか。

政権交代により、従来行われてきた学力テストが来年度から、悉皆方式から抽出方式に変更になるようである。抽出調査の対象外となった場合でも、希望すれば参加出来ることとであり、来年度も参加希望すべきである。



ドライバーを和ませるサルビアロード

**答** 参加の方向で考えていた

**教育長** 学力テストの結果については、小中学校ともに全国平均を若干上回っている。

学力テストの実施方法については、文科省の対応が未決定であり、詳しくは言えないが、個人的には来年度の予算要望を行いたい。

**用語解説**

悉皆と抽出には次のような意味があります。

悉皆(しつぱい) 残らず。すつかり。全部。

抽出(ちゅうしゅつ) 多くの中から、ある特定のものを抜き出すこと。

**答** 周知徹底したい

**町長** ①：自主放送チャンネルでのデータ放送サービスを来年4月よりスタートさせる。

②：大変ご迷惑をかけているが、電光掲示板は高額であり、診察番号の掲示等も含め、よりよい方法を検討する。

③：未申請者には勧奨通知しているが結びついていない。今後も医療機関と連携し、周知徹底に努めたい。

④：洋式トイレは38ヶ所あり、ジェットタオルを19台導入した。ポケット付き寝巻きはクリーニング時にトラブルも多く、このままいきたくない。

**教育長** ②：平日の授業時間数を増やして対応。それでも不足するときは休業日を振替授業日とする。休校情報は必要に応じてケーブルテレビで情報提供したい。



『国保のしおり』窓口にあります

**問** 高額療養費補助など



奥成壮三郎 議員

①「能登町くらしの便利帳」はこのままか。

②新型インフルエンザによる「学校・学級閉鎖対策」と情報は。

③宇出津病院の外來患者への待ち時間及び電光掲示板は。

④高額療養費補助金制度は周知されていないが。

⑤宇出津病院における洋式トイレとポケット付き寝巻きへの改善は。

**問** 原水の利用は

過去3年間の商品別売り上げは。

また、鮮魚の出荷前に最終洗浄を深層水ですれば付加価値も上がり、能登町の生鮮物が安心・安全な体制で出荷することが可能かと考え、24時間いつでも「原水」を持ち帰られる施設コーナーを設置して、産業の育成やニーズに応じた設備を構築する体制が必要では。

**答** 漁業者の活用動向も踏まえて

**ふるさと振興課長** 原水・濃縮水・脱塩水とも年を追って着実に伸びている。今年度の売り上げは1400万円を見込んでいる。

**町長** 地元へのPRをさらに進めていきながら、24時間「原水取水コーナー」の設置は漁業者の活用動向も踏まえてコイン投入による「原水スタンド」の設置も考えたい。



海洋深層水原水タンク

**問** 今後の町行政運営は



志幸松栄 議員

①入札結果状況は。

②病院運営について。

③来年度予算は。

④政局が代わった状況の中で対応。

⑤町の経済・雇用の現状と景気対策の指針について。

⑥町の事業仕分けについて。

**答** 今後とも効率的な財政運営に努める

**町長** ①：総発注件数395件で20億8897万8千円。うち、地元業者の落札件数が301件で契約金額は1億1453万9千円。

②：病院運営については患者ニーズに迅速に対応する努力を続けていく。

**答** 地域性を考慮

**町長** 災害に関しては地域性を考慮し発注しているが、出来るだけ能登町全体での発注をしていきたい。

# 平成20年度決算認定について

平成21年第3回能登町議会定例会において継続審査となっていた、認定第1号から認定第14号までの14件について、決算特別委員会の新平悠紀夫委員長より委員長報告があり、質疑、討論をし、起立全員で認定されました。

## 〔付託案件〕

- 認定第1号 平成20年度能登町一般会計歳入歳出決算
- 認定第2号 平成20年度能登町有線放送事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第3号 平成20年度能登町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 認定第4号 平成20年度能登町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 認定第5号 平成20年度能登町老人保健特別会計歳入歳出決算
- 認定第6号 平成20年度能登町介護保険特別会計歳入歳出決算
- 認定第7号 平成20年度能登町観光施設特別会計歳入歳出決算
- 認定第8号 平成20年度能登町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第9号 平成20年度能登町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第10号 平成20年度能登町漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第11号 平成20年度能登町浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第12号 平成20年度能登町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第13号 平成20年度能登町水道事業会計決算
- 認定第14号 平成20年度能登町病院事業会計決算

## 〔委員長報告〕

去る9月7日「決算特別委員会」に付託された認定第1号から認定第14号までの能登町における平成20年度の各会計14件の歳入歳出決算審査の結果をご報告します。

まず審査の経過といたしまして、10月5日以降、5回の委員会を開催し、決算書及び主要施策の成果説明書をもとに、予算が議決の主旨に沿い、適正かつ効率的に執行され、町政進展と住民福祉の向上のため、所期の行政目的が十分に達成されたかを中心に各担当課から説明を受け、慎重に審査をいたしました。

また、予算執行による行政効果の確認のため、白丸コミュニケーション施設及びクロマルハナバチ試験飼育生産施設の現地視察を行いました。

その結果、各会計とも全会一致で決算はそれぞれ認定すべきものと決定しました。

なお、審査過程で議論されたことにつきまして、今後の課題、改善事項として次のとおり申し添えます。

まず財政面の概要として、経常収支比率、起債制限比率、実質公債費比率は依然として高水準にあるが、いずれも改善が見られ評価に値するものであります。

歳入では町税及び国営農地開発事業などの負担金について、一層の公平公正かつ適切な確保に努められたい。

また、受益者が限られた財産については処分を考える必要があると思われまます。

次に特定健診の受診率向上に向け、創意工夫し取り組み、計画に定めた率を達成し、医療費の削減につなげられたい。

塵芥収集事業の委託先の決定に際し、競争入札により委託料を決定し、新規参入者の道も開くよう検討されたい。

また、一次産業振興策としてモデル農場本来の趣旨に沿った事業の積極的な展開を望むものであります。

企業会計では水道事業会計の有収率の向上を期すとともに、病院事業改革プランの主眼は経営効率化に置かれているが、利用する患者の立場に立ったサービス向上にも努力されたい。

最後に、我々議会の使命遂行に欠くことが出来ない例規集の追録を求めるとともに、予算執行で成し遂げられた効果の、客観的判断には主要施策の成果説明書の存在意義は深く、その更なる充実と、職員研修を積極的に受講されて、町政発展に寄与されんことを期待し、委員長報告といたします。



## 議案をチェック

**岡鍛冶谷 眞一 議員**  
小中学校の人員費が小中学校で627万7千円、中学校で564万5千円追加になった理由は。

**岡総務課長**  
昨年までの臨時の校務員を小中学校とも一人ずつ正規職員とした。

**岡向峠 茂人 議員**  
木質ペレットボイラー導入診断事業として、100万円予算化されている説明を。

**岡ふるさと振興課長**  
公共施設の既設のボイラーをペレットボイラーに交換するための導入診断業務。今回は「セミナーハウスやまびこ」と「うしつ荘」である。

**岡石岡 安雄 議員**  
能登空港利用促進事業費に今回の補正で100万円あるが、その理由は。

**岡企画財政課長**  
能登全体で地元客の利

用率が下がっているの  
で、各自自治体に割り当て  
を行い、当町は達成率が  
目標の55%増となり、年  
度末に100万円の不足  
が生じるので追加した。

**岡山本 一朗 議員**  
能登町は目標達成して  
いるのに追加ということ  
は目標達成していない自  
治体はかなりあるのか。

**岡企画財政課長**  
達成しているのは輪島  
市、能登町、穴水町、羽  
咋市で、七尾市と中能登  
地区は非常に悪い状況。

**岡石岡 安雄 議員**  
ノルマ達成が出来ない  
市町にペナルティーは。

**岡企画財政課長**  
ペナルティーはない。

**岡榑原 安弘 議員**  
下水道事業特別会計の  
歳入が約14%増となる要  
因と下水道接続率は。

**岡下水道課長**  
町民各位の下水道接続  
の協力があり、それに伴

う月使用料の増加が見込  
まれるため。接続率は、  
小木地区で43・9%、宇  
出津地区で50・4%、恋  
路地区で43%。

**岡新平 悠紀夫 議員**  
子育て支援特別手当が  
1300万円の減額にな  
っているが政権交代が  
原因か。

**岡健康福祉課長**  
この予算は先の議会で  
補正していたが、政権交  
代があり10月15日付けで  
厚生労働省から停止の通  
知があった。

**岡新平 悠紀夫 議員**  
インフルエンザの影響  
による学校の冬休みは。

**岡学校教育課長**  
宇出津小、鶴川小、能  
都中、小木中、松波中の  
5校が冬休み中、2日か  
ら3日間の授業を予定。

**岡多田 喜一郎 議員**  
地域活性化経済危機対  
策臨時交付金事業の目的  
は、地球温暖化、少子高  
齢化対策や「安全・安心  
の実現」その他地域活性  
化に資する事業を行うた  
めのものだが、当町はど  
う予算付けしているか。

**岡企画財政課長**  
主なものは、エコカー  
導入、保育所大規模改修  
などがあり、住民密着予  
算としては側溝の修繕事  
業、農林道整備事業があ  
る。防災強化として防災  
マップの作成。その他、  
老人福祉センター大規模  
改修も予算化している。

**岡久田 良平 議員**  
漁業集落排水事業の対  
象戸数に対して加入率  
は。

**岡下水道課長**  
10月末現在で、小浦・  
羽根処理区では25・3%。  
赤崎処理区では58・9%。

**岡久田 良平 議員**  
小浦・羽根地区は漁業  
の盛んな地域であり、環  
境破壊を招かないという  
ことで下水道の接続率を  
高める必要があるが、今  
後の指導や啓蒙活動は。

**岡下水道課長**  
今後も町内会長の協力  
を得て、水洗化率向上に  
広報活動を続けていく。

**岡久田 良平 議員**  
能都体育館の屋根塗り  
替え工事は地域活性化経  
済危機対策臨時交付金事

業にマッチしていないと  
思うが、落札者は。

**岡生涯学習課長**  
穴水町の業者さんだ。

**岡久田 良平 議員**  
この程度の工事は地元  
業者で対応可能だったの  
ではないか。この交付金  
は地域の雇用や消費を促  
す性質があることを分  
かっているのか疑う。今  
後は注意して執行にあ  
たってほしい。

**岡志幸 松栄 議員**  
640万5千円の地震  
対策マップの作成は。

**岡建設課長**  
国土交通省100%の  
補助で、役場、公民館に  
配置し周知を図る。作成  
は県内コンサルタントに  
委託となる。

**岡宮田 勝三 議員**  
水洗便所等改造資金助  
成金143万円が補正さ  
れているが、下水道接続  
件数の増加が要因か。

**岡下水道課長**  
接続件数の増加という  
ことで今回補正した。補  
正した件数は40戸分を予  
定している。

また、一次産業振興策  
としてモデル農場本来の  
趣旨に沿った事業の積極  
的な展開を望むものであ  
ります。

企業会計では水道事業  
会計の有収率の向上を期  
すとともに、病院事業改  
革プランの主眼は経営効  
率化に置かれているが、  
利用する患者の立場に  
立ったサービス向上にも  
努力されたい。

最後に、我々議会の使  
命遂行に欠くことが出来  
ない例規集の追録を求め  
るとともに、予算執行で  
成し遂げられた効果の、  
客観的判断には主要施策  
の成果説明書の存在意義  
は深く、その更なる充実  
と、職員研修を積極的に  
受講されて、町政発展に  
寄与されんことを期待  
し、委員長報告といたし  
ます。

発議第6号  
「農山漁村の多面的機能  
を維持する施策の推進を  
求める意見書」の提出に  
ついて

①条件が不利な状況にあ  
る中山間地域における農  
業生産の維持を図り、農  
山村の多面的機能を確保  
するための「中山間地域  
等直接支払制度」の充実・  
強化。

②中山間地域の住民生活  
に大きな影響を及ぼす有  
害鳥獣の被害を解消する  
ため、捕獲体制の強化、  
被害防除、生活環境管理  
対策の強化。

③木材の利用拡大ととも  
に、健全な森林の整備・  
保全を進めて「美しいも  
りづくり」を展開するた  
めに必要な財源を確保。

④今年度で期限が切れる  
離島漁業再生支援交付金  
の継続など、水産業・漁  
村の持つ多面的機能の維  
持・増進を図る。

起立全員で原案可決と  
なった。

# 総務

# 委員会

菊田俊夫（委員長）  
酒元法子（副委員長）  
山崎元英・新平悠紀夫  
山本一朗・向峠茂人

12月7日に委員会を開催し、付託された議案2件、請願1件について審議した。主な審議内容は次のとおりである。

## ○全国瞬時警報システム

防災総務費の工事請負費に824万3千円を計上し、気象庁や消防庁からの災害情報を「スーパーバード」という人工衛星を介して、全国の県・市町村へ提供するシステムを導入。

## ○防災関係

現在、宇出津新港で防災訓練を行っているが、埋立地ということもあり、いざ大地震が発生すれば津波はもとより液状化現象も懸念される。

あくまでも訓練かもしれないが、町民は新港へ行けば助かるものと思うのではないかと考えら

れ、例えば能都中学校、グラウンドなど安全性の高い避難場所を訓練すべき。

どこが安全でどこが危険なのかしつかり調査し、単なる予算消化的な訓練ではなく、地区ごとに細分化した現実的な訓練を実施することを検討し、作成中の防災マップを全戸配布するなどの考慮をされたい。

その他議案とともに付託された全議案は全会一致で可決とした。

## ○請願について

「防火水槽設置の件」の請願は採択とした。ただし、設置にあたっては特別な事例も含めた防火水槽設置基準を新たに設け、それに叶うことを条件とした。

# 教育民生

# 委員会

奥成壮三郎（委員長）  
南 正晴（副委員長）  
石井良明・久田良平  
宮田勝三・奥野 清  
椿原安弘

12月7日に委員会を開催し、付託された議案6件について審議した。主な審議内容は次のとおりである。

## ○人間ドック

能登町には国保被保険者は6700人おり、そのうち32人が人間ドック補助を利用している。

30歳以上の被保険者を対象とし、5万円の補助が出るので健康維持のためにも受診の推進に心掛けたい。

## ○公立保育所改修事業

築33年を経過しているひばり保育所の外壁のクラック補修と内壁の補修、厨房設備の入替、IH方式にする電気関係の改造、空調設備の改修をする。

## ○共同給食（松波地区）

中学校で作った給食を小学校へ運搬することで人件費、維持管理費など経費の削減を図る。

平成20年度に柳田地区で実施されているが、設備がやや古く、修繕が必要であり、1月から開始する方針。

## ○条例改正（病院事業）

近年、個室を利用する入院患者が増えており、県及び社会保険事務所へ申請したところ、許可が出たことで、「505」

「506」の2室を新たに個室として使う条例の一部改正を提出。

その他議案とともに付託された全議案は全会一致で可決とした。

# 産業建設

# 委員会

河田信彰（委員長）  
鶴野幸一郎（副委員長）  
大谷内義一・多田喜一郎  
鍛冶谷眞一・石岡安雄  
志幸松栄

12月7日に委員会を開催し、付託された議案7件、陳情1件について審議した。主な審議内容は次のとおりである。

## ○新町通り線街路整備事業

宇出津新町の千間書店前の橋を当該事業により改修予定。事業は来年度から取り掛かることとなっている。

## ○ペレットストーブ

環境問題も含め、化石燃料に代わるペレット（木質燃料）ストーブの普及推進を図っている。

まだ出始めでもあり、単価的には高いので生産効率を上げていくことが望まれる。

## ○除雪問題

平均1時間1万4千円で除雪作業を頼んでいるが、業者は自腹を切っていると聞く。除雪業者には何か有利なものがあったりもよいのではないかと

また、有線放送・広報を通じて、路上駐車禁止の告知も重要である。

## ○陳情について

「町道1級九里川尻越坂1号線（河ヶ谷地内）取付道路の舗装について」の陳情は継続審査とした。

その他議案とともに付託された全議案は全会一致で可決とした。